

2019 スーパーFJ 富士シリーズRd.3.4 参戦報告



SIM Studio *Mey handmade accessories*

富士スピードウェイ

前回の第2戦から4ヶ月ものインターバルを開けて久しぶりにレースが開催されました。

前回は予選で2位以下に大差をつけることに成功しましたが、決勝スタート直後に接触されリタイヤという悔しい思いをしました。

そのため今回は予選でポールを取ることはもちろんですが、決勝も冷静な判断を心がけてしっかり完走する事を頭に入れて挑みました。



9/19~21(木、金、土) フリー走行

6~8月の3ヶ月は富士、筑波で練習走行を行ってきたため、今回の富士も自信はありました。

しかし練習日初日からイマイチ乗り切れておらず
20日(金)にニュータイヤで走行しても思ったタイムが出ません。

メカニックさんにニュータイヤの使い方が良くないと
アドバイスを貰い、決勝前日21日(土)のフリー走行1本
でなんとかある程度修正することに成功しましたが
予選でさらに改善する必要があるという不安を
感じながらフリー走行を終えました。

Best 1'55"23



9/22(日) 公式予選

前日にフィーリングが少しずつ良くなってきたため
良いイメージを持って、さらに改善すべきところは
予選中に改善するしかないので、難しいのは承知の
上で気合を入れて予選に挑みました。

朝7:30という早い時間で気温も低いため入念に
タイヤに熱を入れながら中盤まで周回を重ねていき、
改善すべき場所をうまくこなす事もできてタイムは
自分の中での富士のベストタイムが出ました。

終盤、さらにまだ攻めれると感じていたのもので、予選の
最後のラップをセクター1、2と全体ベストで繋いでいた
のですがセクター3でミスをしてスピン。
結果は僅差の2番手でした。 **Best 1'54"313**



9/22(日) 第3戦 決勝

予選でトップとの差は0.1秒の僅差で、自分のミスが無ければポールポジションも狙えたのでレースでは混戦が予想されました。

スタートは悪くなかったのですが、ポジションどりが良くなり3位に後退しますが、焦らずにじっくり抜きどころを探していました。

次のラップのAコーナーで2位に浮上しますが後続が離れずしばらくバトルが続きます。

バトル中にダンロップコーナーの進入で姿勢を乱し少し離され単独走行になったのですが、ここからペースが上がらず、そのまま3位でフィニッシュ。

予選とは違う気温が高いコンディションに対応できませんでした。Position2→3



9/22(日) 第4戦 決勝

第4戦決勝直前までドライでしたがコースインすると同時に雨が降り出し、ウェット路面に。
グリッド上でスリックからウェットタイヤに交換してもらいました。

第3戦のファステスト順のグリッドなので3番手スタートでしたが、無難に決めてそのままポジションキープ。
前2台にくっついていきますが100Rで一瞬姿勢を乱しコースアウト。

すぐに復帰しましたが、そこから徐々に路面が乾いていき、第3戦同様に変わっていくコンディションに対応することが出来ず、前の2台に大差をつけられ
そのまま3位でフィニッシュ。完全に力不足を痛感させられました。 **Position3→3**



～まとめ～

今回のレースまでに3ヶ月間準備をしてきたつもりでしたが、自分の走らせ方を気付かないうちに見失っていたようでした。

今回勝てなかった原因は明白で、明らかにマシンの走らせ方の引き出しが少な過ぎます。

予選までに一発の速さはある程度取り戻せたとしても予選とは違うコンディションに2レースとも対応できず前に離されるという結果になってしまいました。

走行中にどの走り方をすれば速いかを感じ取れていないので、これからは今までと違ったアプローチをとって練習から取り組んでいこうと思います。

最後になってしまいましたが、今回もご声援、ご支援本当にありがとうございました。

絶対にまた表彰台の真ん中に戻ってみせますので、これからもご声援よろしくお願い致します！

